

かみなりまつ
神成松遺跡第8地点

伊勢原市No.74

- 調査期間 2015年7月1日～2017年7月31日
所在地 伊勢原市上粕屋
時代 近世、中世、奈良・平安、古墳、
弥生、縄文、旧石器
調査原因 一般国道 246号(厚木秦野道路)
建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
遺跡位置 小田急小田原線伊勢原駅の北西約
3kmの上粕屋扇状地上



主な調査成果

2015年から2年間で調査した範囲の出土品等整理作業を、2019年12月から始めました。遺跡は、台地平坦部から谷部を含む範囲に広がり、台地平坦部から谷部への斜面では、縄文時代後期(約3500年前)の竪穴住居、土坑、集石などが発見され、集落であったことがわかりました。奈良・平安時代から江戸時代までは、耕作地であったことがわかりました。

谷部は縄文時代以降、埋没が進んだことがわかりました。各時代の堆積した土砂からは土器を中心に遺物が出土しています。古墳時代から奈良・平安時代の谷部の流路からは、火鉢や建築部材と考えられる木製品や完形の土師器坏がまとまって出土しました。奈良・平安時代以降は、埋没した谷面に水田、畠が構築されたことがわかりました。



J1号埋甕

[神奈川県教育委員会所蔵]



J2号住居址全景



[神奈川県教育委員会所蔵]

谷部流路出土木製品(上:火鉢臼 下:建築部材?)



[神奈川県教育委員会所蔵]

谷部流路出土土師器坏(奈良時代後半)